

リズム(ストップ/エンディング/フィルイン)

機能説明

フットスイッチの設定は、左フットスイッチを使って、リズムをコントロールする機能です。

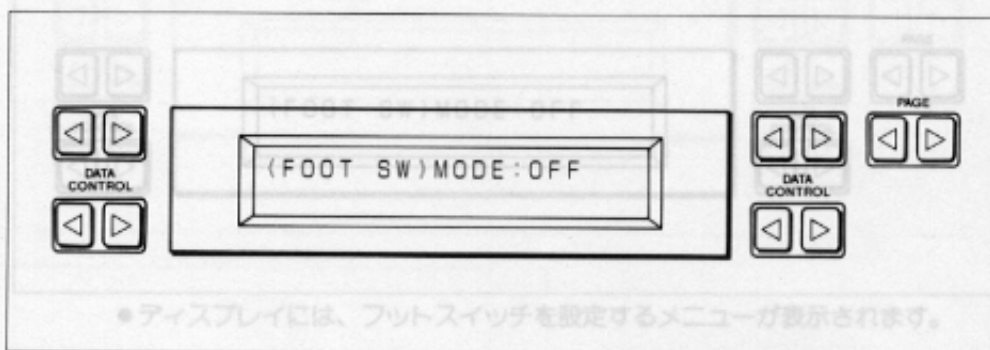
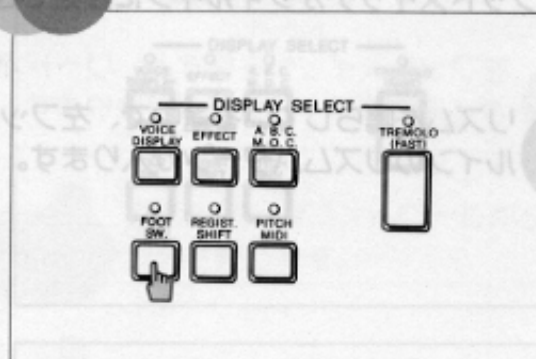
リズムをコントロールする方法は、左フットスイッチを押すごとにリズムがスタートする方法、ストップする方法、途中でリズムのフィルインパターンを入れる方法があり、そのどれか1つを選択します。

操作方法

フットスイッチのリズムモードを選び、「FILL IN」(フィルイン) に設定する操作を例にして説明します。

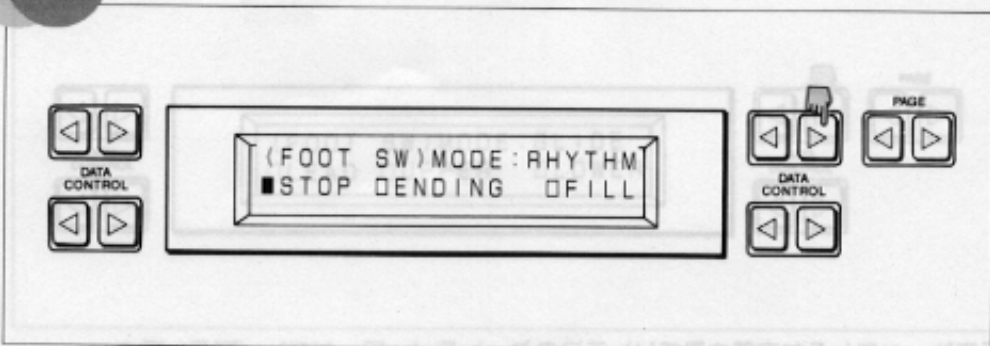
1

ディスプレイセレクトの〔FOOT SW.〕(フットスイッチ) ボタンを押します。



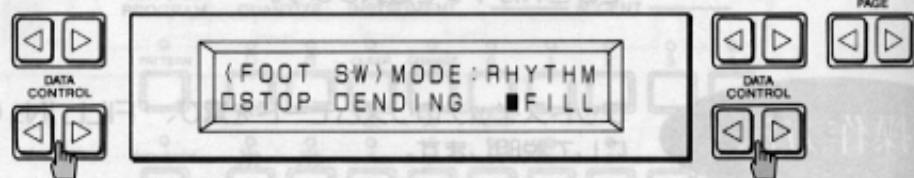
2

データコントロールボタン(▷)を押して、「RHYTHM」を選びます。



リズム(ストップ/エンディング/フィルイン)

下段のデータコントロールボタン(◀)(▶)を押して、「FILL」を「■」にします。



これで、フットスイッチがフィルインに設定できました。

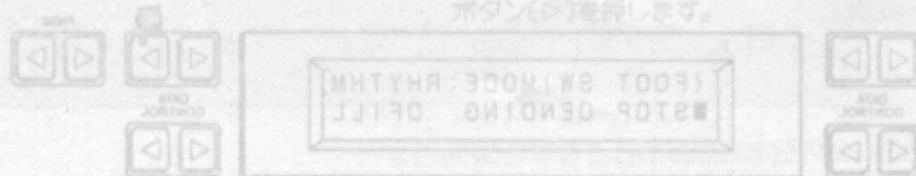
リズムを鳴らしている途中で、左フットスイッチを押すと、フィルインのリズムパターンが入ります。

●ディスプレイには、設定を消してよいかどうかの確認メニューが表示されます。



おひきま「MHTYHRA」に「J」押し(◀)にモットスウィッチにモード

- レジストリフトの設定が消えます。
- 設定を消したくない場合は、ここで「Cancel」の横にあるデータコントロールボタン(▶)を押します。



おひきま「MHTYHRA」に「J」押し(◀)にモットスウィッチにモード

機能説明

左フットスイッチを使って、グライド効果をかけることができます。

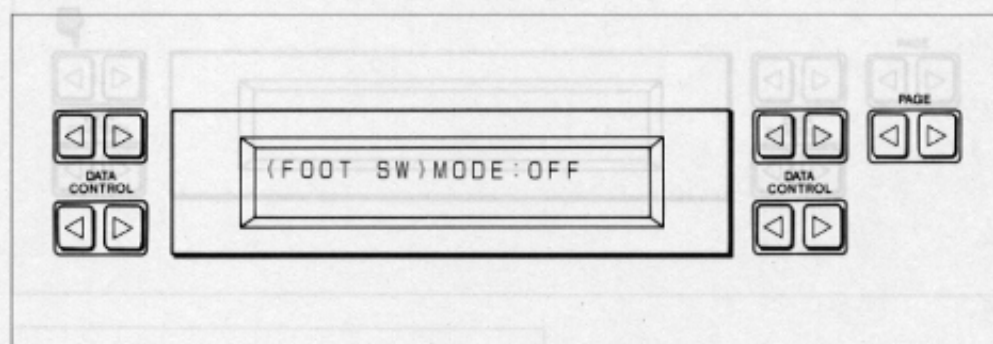
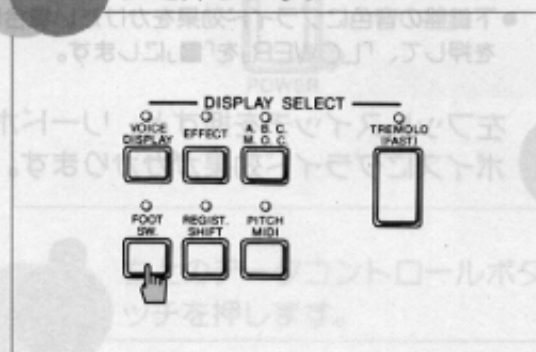
グライド効果とは、左フットスイッチを押すと、一時的に音程が半音下がり、左フットスイッチを離すと徐々に元の音程にもどる機能です。

グライド効果は、上鍵盤の音色(アップパーキーボードボイス、リードボイス)と下鍵盤の音色(ロワーキーボードボイス)にかけることができます。

操作方法

1

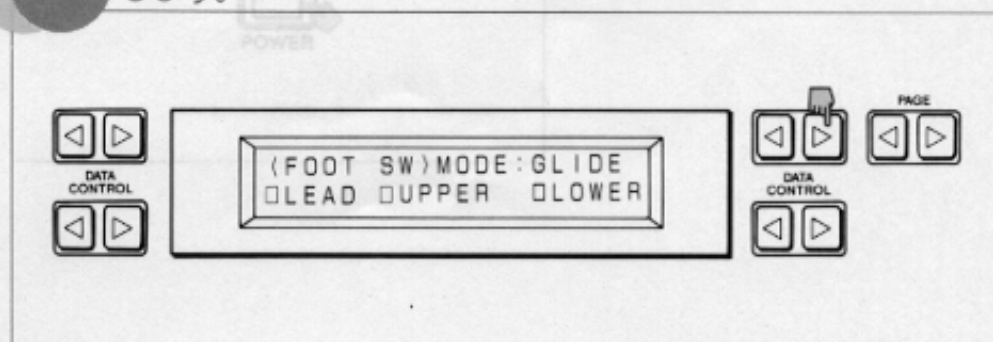
ディスプレイセレクトの(FOOT SW.) (フットスイッチ) ボタンを押します。



●ディスプレイには、フットスイッチを設定するメニューが表示されます。

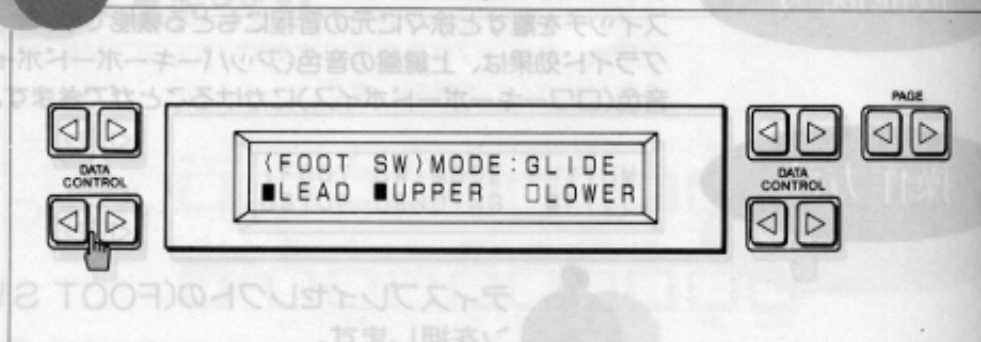
2

右上のデータコントロールボタン(▷)を押して、「GLIDE」を選びます。



●ディスプレイには、フットスイッチのグライド効果を設定するメニューが表示されます。

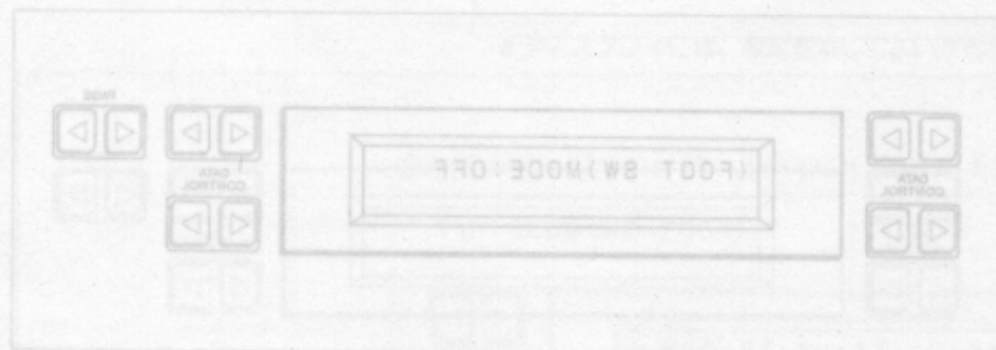
左下のデータコントロールボタン(◀)(▶)を押して、「LEAD」と「UPPER」を「■」にします。



- 下鍵盤の音色にグライド効果をかけたい場合は、コントロールボタン(◀)(▶)を押して、「LOWER」を「■」にします。

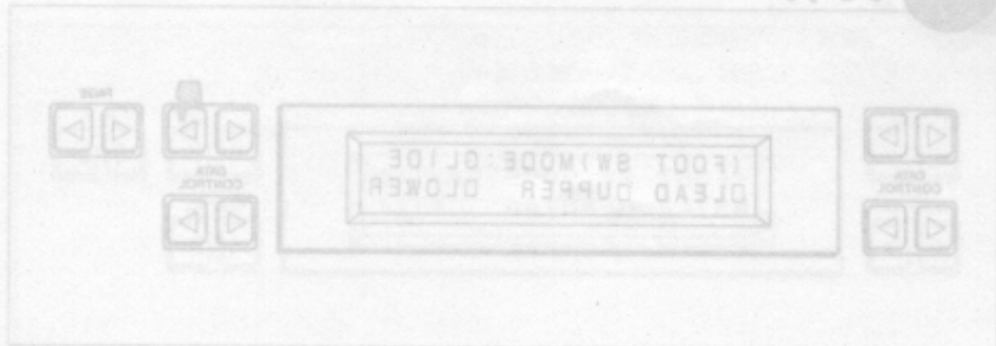
左フットスイッチを押すと、リードボイスとアッパーキーボードボイスにグライド効果がかかります。

右フットスイッチを押すと、フィルインのリズムが入ります。



● 下鍵盤の音色にグライド効果をかけたい場合は、コントロールボタン(◀)(▶)を押して、「LOWER」を「■」にします。

左フットスイッチを押すと、リードボイスとアッパーキーボードボイスにグライド効果がかかります。



● 下鍵盤の音色にグライド効果をかけたい場合は、コントロールボタン(◀)(▶)を押して、「LOWER」を「■」にします。

パワーオン・リセット

機能説明

パワーオン・リセットは、EL-50をお買い求めになったときと同じ設定に戻すことができる機能です。

操作方法

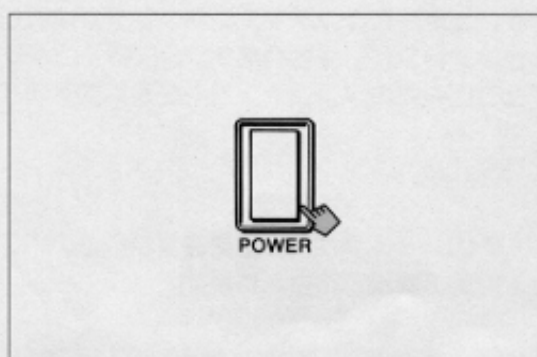
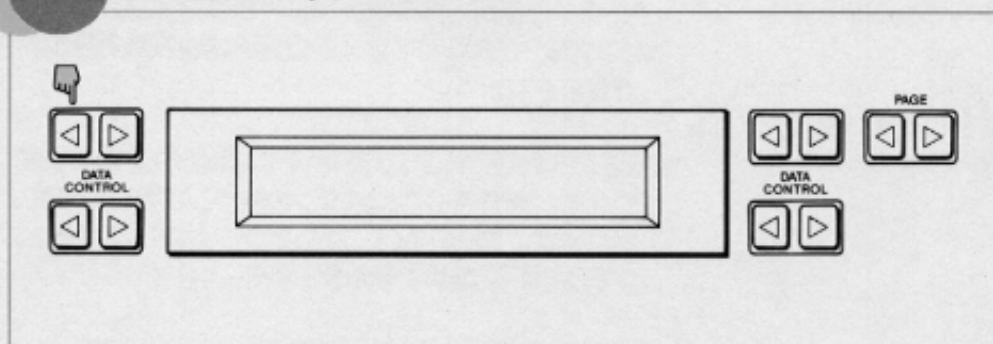
1

パワースイッチを押して、電源を切ります。



2

左上のデータコントロールボタン(◀)を押しながら、パワースイッチを押します。



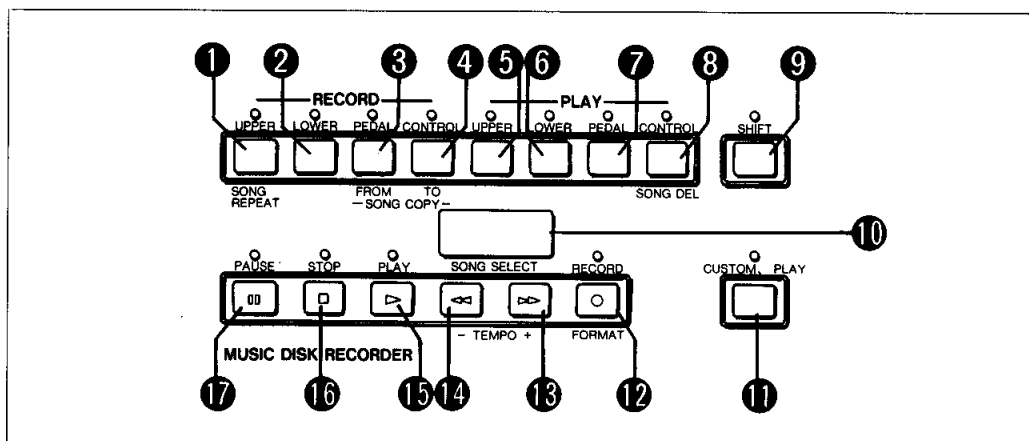


演奏の録音・再生

ミュージックディスクレコーダー(MDR)について

各部の名称と機能

EL-50は、フロッピーディスクを使って、レジストレーションのデータを記録したり、演奏を録音、再生させることができます。その他簡単な操作で高度な機能が得られます。



(レコードセクション)

- ① UPPER/SONG REPEAT (アッパー/ソングリピート)：二つの働きがあります。録音時にこのボタンの赤ランプが点灯していれば、上鍵盤の演奏が録音されます。また、SHIFT (シフト) ボタンを押しながらこのボタンを押すとリピート再生ができます。
- ② LOWER (ロワー)：録音時にこのボタンの赤ランプが点灯していれば、下鍵盤の演奏が録音されます。
- ③ PEDAL/SONG COPY FROM (ペダル/ソングコピーフロム)：二つの働きがあります。録音時にこのボタンの赤ランプが点灯していれば、ペダル鍵盤の演奏が録音されます。SHIFT (シフト) ボタンを押しながらこのボタンを押すとコピー元のソングナンバーが選択できます。
- ④ CONTROL/SONG COPY TO (コントロール/ソングコピートゥー)：二つの働きがあります。録音時にこのボタンの赤ランプが点灯していれば、エクスプレッションペダルなどのデータが記憶されます。SHIFT (シフト) ボタンを押しながらこのボタンを押すとコピー先のソングナンバーを選択できます。

(プレイセクション)

- ⑤ UPPER (アッパー)：再生時または録音時にこのボタンの赤ランプが点灯していれば、録音した上鍵盤の演奏が再生されます。
- ⑥ LOWER (ロワー)：再生時または録音時にこのボタンの赤ランプが点灯していれば、録音した下鍵盤の演奏が再生されます。
- ⑦ PEDAL (ペダル)：再生時または録音時にこのボタンの赤ランプが点灯していれば、録音したペダル鍵盤の演奏が再生されます。
- ⑧ CONTROL/SONG DEL. (コントロール/ソングデリート)：二つの働きがあります。再生時または録音時にこのボタンの赤ランプが点灯していれば、記録したエクスプレッションペダルなどのデータが再現されます。SHIFT (シフト) ボタンを押しながらこのボタンを押すと曲を削除できます。

- ⑨ SHIFT(シフト)：このボタンを押している間は各ボタンの下に表示されている緑色の文字の機能に切り替わります。
- ⑩ デジタルディスプレイ：ストップ状態ではソングナンバー、録音時にはメモリー残量、再生時には時間を表示します。その他、現在の状態を示す記号なども表示します。
- ⑪ CUSTOM PLAY(カスタムプレイ)：演奏のみの再生または録音が始まります。
- ⑫ RECORD/FORMAT(レコード/フォーマット)：二つの働きがあります。単独で押すと録音が始まります。SHIFT(シフト)ボタンを押しながらこのボタンを押すと、フロッピーディスクの初期化ができます。
- ⑬ SONG SELECT/TEMPO+(ソングセレクト/テンポ+)：三つの働きがあります。単独で押すとソングナンバーを表す数字の値が大きくなります。SHIFT(シフト)ボタンを押しながらこのボタンを押すと、再生させるときのテンポが早くなります。また再生中に押すと、早送りができます。
- ⑭ SONG SELECT/TEMPO-(ソングセレクト/テンポ-)：三つの働きがあります。単独で押すとソングナンバーを表す数字の値が小さくなります。SHIFT(シフト)ボタンを押しながらこのボタンを押すと、再生させるときのテンポが遅くなります。また再生中に押すと、早戻しができます。
- ⑮ PLAY(プレイ)：ストップ状態で押すと、レジストレーションが送信され演奏の再生が始まります。RECORD(レコード)ボタンを押したあと、このボタンを押すと、録音が始まります。
- ⑯ STOP(ストップ)：録音や再生をストップさせます。
- ⑰ PAUSE(ポーズ)：再生中に押すと、再生が一時的に停止します。

機能説明

MDRには次の機能があります。

フロッピーディスクの使用

フロッピーディスクをフォーマット(初期化)する(P149参照)

フロッピーディスクのメモリー残量をデジタルディスプレイで確認する(P168参照)

レジストレーションのデータをフロッピーディスクに記録する

レジストレーションだけを記録する(P151参照)

レジストレーションのデータだけを差し替える(P169参照)

エレクトーン演奏を録音、再生する

上鍵盤、下鍵盤、ペダル鍵盤の音をそれぞれ別に録音する(P160参照)

エレクトーン演奏の録音を中断して、最初から録音し直す(P159参照)

リードボイスの演奏だけを分離して録音、再生する(P164参照)

キーボードパーカッションのリズムを録音する(P167参照)

レジストレーションデータは再生せずに、演奏だけを再生する(P174参照)

再生中に一時停止をする、再生中に早送りまたは早戻しをする(P172参照)

録音した演奏の中から、特定の鍵盤の演奏だけを再生する(P175参照)

フロッピーディスクに録音した全ての曲または、特定の1曲だけを繰り返し再生する(P177参照)

録音した曲のテンポを変える(P181参照)

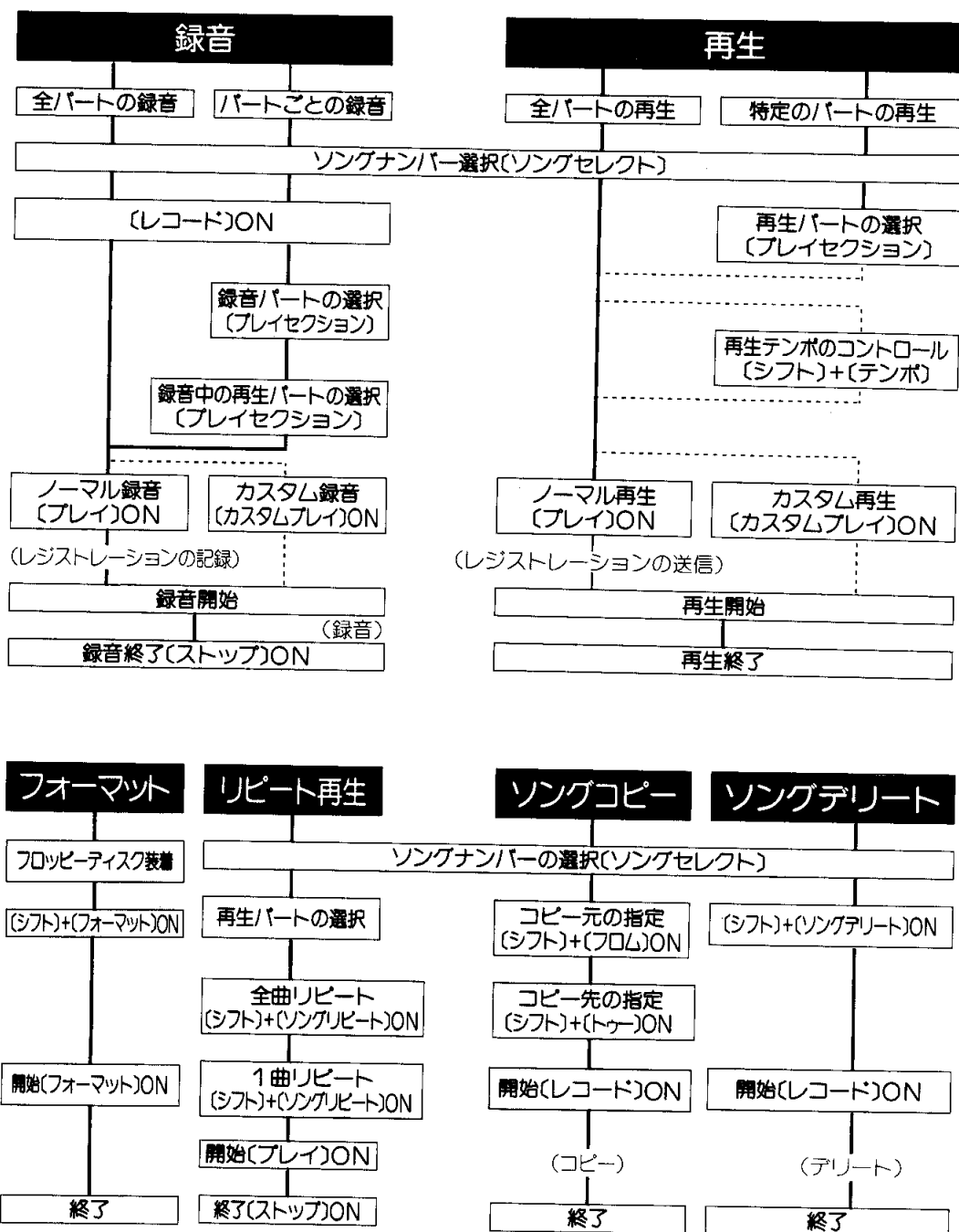
テンポを変更した後、録音したときのテンポに戻す(P182参照)

すでに録音した曲を別のソングナンバーにコピーする(P183参照)

録音してある不要になった曲を削除する(P185参照)

■操作の流れ

ミュージックディスクレコーダー(MDR)には、①録音、②再生、③フォーマット、④リピート再生、⑤ソングコピー、⑥ソングデリートと大きく分けて6つの機能があります。それぞれの操作の流れは次の通りです。



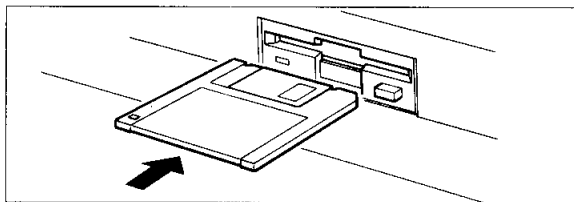
■デジタルディスプレイの表示の意味

誤った操作をしたときや何らかのエラーが発生した場合は、デジタルディスプレイに下表のような記号が表示されます。表示の意味を理解して対処してください。

表示	表示の意味と対処方法
Insert	フロッピーディスクが入っていません。フロッピーディスクを入れてください。
Format	フロッピーディスクが、まだフォーマットされていません。フォーマットしてください。
Protect	①フロッピーディスクが録音不可状態になっているため、録音、ソングコピー、ソングテリートができません。(STOP)(ストップ)ボタンを押して、フロッピーディスクを取り出し、ライトプロテクトタブを録音可能状態にセットしてください。 ②コピープロテクトのかかったフロッピーディスクを使っているとき、録音やソングコピー、ソングテリートをしようとすると、このメッセージが表示されます。
Full	①メモリー残量がなくなったため、録音、ソングコピーができません。不要のソングを削除するか、別のフロッピーディスクを入れてください。 ②全てのソングナンバーにデータが記録されているため、ソングコピーができません。(STOP)(ストップ)ボタンを押して、不要なソングを削除してください。
Erase	全てのソングナンバーにデータが記録されていないため、コピー元になるデータがなく、ソングコピーができません。(STOP)(ストップ)ボタンを押して、データを記録しているフロッピーディスクを入れてソングコピーをやり直してください。
Abort	録音/再生中などにフロッピーディスクを取り出したため、エラーが発生しました。(STOP)(ストップ)ボタンを押して、フロッピーディスクを挿入して操作をやり直してください。
Disc	このエレフトーンでは再生できないフロッピーディスクが入っています。(STOP)(ストップ)ボタンを押して、適切なフロッピーディスクを入れてください。
Lost	非常に多くの録音をしようとしたため録音できませんでした。(STOP)(ストップ)ボタンを押し、録音し直してください。
Bad	フロッピーディスクに不良があるため、フォーマットできません。(STOP)(ストップ)ボタンを押して、別のフロッピーディスクを入れてフォーマットをやり直してください。
Error	内部通信に何らかのエラーが発生しました。(STOP)(ストップ)ボタンを押して、操作をやり直してください。
--	すでにデータが記録されているソングナンバーに録音しようとしたため、そのソングナンバーの左に「--」が表示されました。 ①記録されているデータを消去したくない場合は、(STOP)(ストップ)ボタンを押し、別のソングナンバーを選んでください。 ②記録されているデータに、新しいデータを追加記録する場合はもう一度(RECORD)(レコード)ボタンを押して操作を続けてください。
Protect	プロテクトのかかったフロッピーディスクを使っていることを示しています。再生はできますが、記録はできません。下2桁がソングナンバーを示しています。

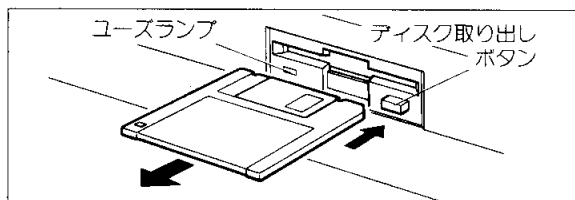
フロッピーディスクについて

■フロッピーディスクの入れかた



ディスク挿入口にフロッピーディスクのラベルを上にしてカチャッという音がするまで水平に差し込みます。

■フロッピーディスクの取り出しかた



ユーズランプが消灯していて、MDRの〔STOP〕(ストップ)ボタンが点灯していることを確認してから、ディスク取り出しボタンを押します。

エレクトーンに記憶させているデータをフロッピーに記録しているときや、フロッピーディスクに記録しているデータをエレクトーンに読み込ませているときはユーズランプが点灯しています。

このときディスクを取り出すと、データが消えてしまいますので、注意してください。

フロッピーディスクをFDDユニットから取り出す時、以下の点にもご注意ください。

- ディスク取り出しボタンをしっかりと正確に押し、フロッピーディスクが完全に出たことを確認し、取り出してください。
- ディスク取り出しボタンを中途半端に押したり、あわてて押すと、取り出し機構が正常に作動せず、フロッピーディスクが途中でひっかかり、取り出せなくなる場合があります。また、無理にフロッピーディスクを取り出そうとすると、ディスクやMDR本体の故障の原因となります。

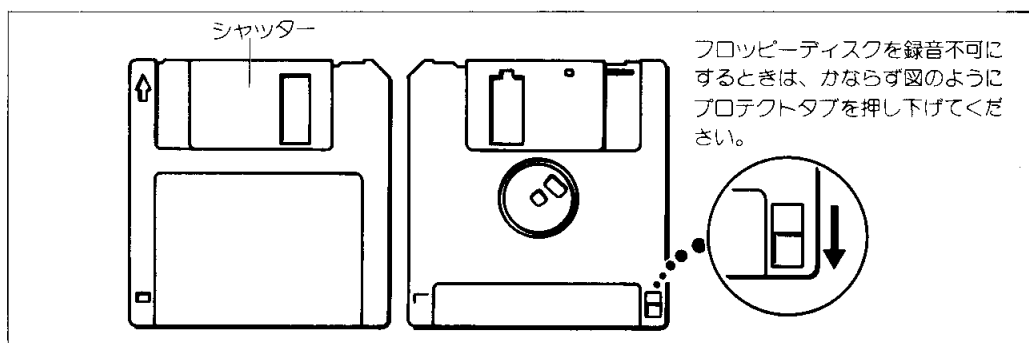
ディスク取り出しボタンが中途半端な状態になったり、フロッピーディスクが完全に出ない場合は、もう一度ディスク取り出しボタンをしっかりと押しなおすか、またはフロッピーディスクをMDRに完全に押し込んで、再度ディスク取り出しボタンをしっかりと正確に押しなおして、取り出してください。

■1枚のフロッピーディスクに記録できるデータ量

1枚のフロッピーディスクに録音できる曲数(ソングナンバー)は2HD、2DDともに40曲までです。しかし、ひとつのソングナンバーに記録できるデータ量は2HDのフロッピーの方が多くなります。長い曲を記録するときは2HDのフロッピーの方が適しています。

■フロッピーディスクのプロテクトタブ

フロッピーディスクには、録音不可の状態にするツメ(ライトプロテクトタブ)があります。これは、以前録音した演奏を誤って消去するのを防ぐためにあります。通常は録音可能な状態にしておいてください。



フロッピーディスクとは磁気によってデータを記録する補助記憶装置です。MDRでは3.5インチ2DDまたは2HDフロッピーディスクを使用します(付属の録音用フロッピーディスクは2DDです)。

■フロッピーディスクの取り扱いと保管について

フロッピーディスクの中には、情報を記録する磁性体が入っています。次の点に注意して取り扱いや保管をしてください。

- 磁気を帯びたもの(テレビやスピーカーなど)には近づけないでください。
- 落としたり、強い力を加えないでください。
- 物をのせたり、折り曲げたりしないでください。
- シャッターを開けたり、磁性体に手を触れたりしないでください。
- 内部のディスク表面に手を触れないでください。
- 内部に水やホコリが入らないようにしてください。
- 必ず、専用のケースに入れて保管してください。
- 保管する場合は直射日光のあたる場所や、高温または低温の場所に置かないでください。
- 持ち運ぶ際は、市販の専用ケースに入れてください。まれに、衣類などの静電気によってフロッピーディスクのデータが消えてしまうときがあります。
- シャッターが上下に開いているような変形したフロッピーディスクは使用しないでください。MDRが壊れたり、フロッピーディスクが取り出せなくなることがあります。

MDRドライブユニットのヘッドフリーニングについて

MDRのドライブユニットには、データを読み取るための磁気ヘッドがあります。この磁気ヘッドが汚れると、データの読み取りができなくなったり、ディスクが傷付いたりします。

市販のフリーニングディスク(乾式)で、定期的に磁気ヘッドのフリーニングを行うよう心がけてください。

ディスクをフォーマット(初期化)する

機能説明

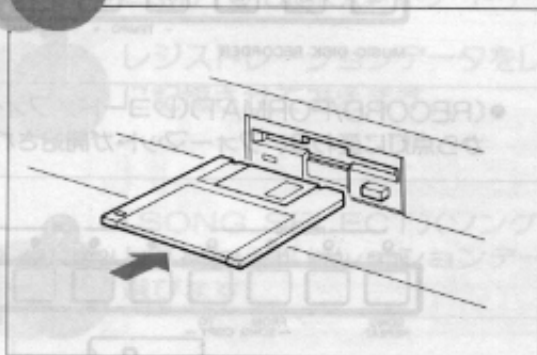
操作方法

付属および市販のフロッピーディスクは、そのままの状態では使用できません。「フォーマット(初期化)」をしてMDRで使用可能な状態にします。

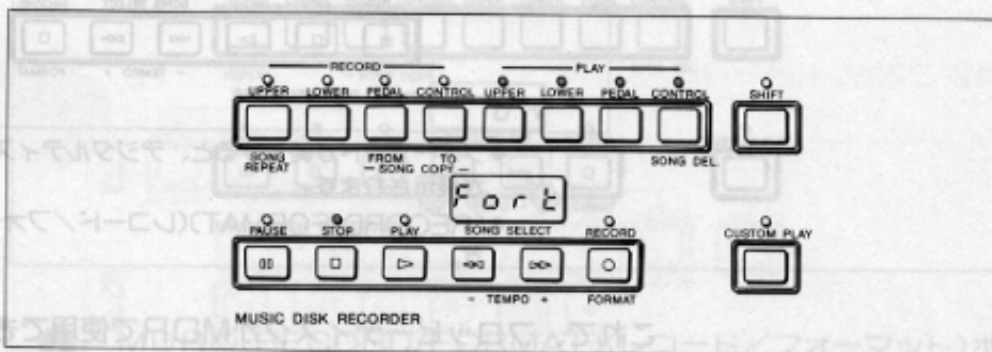
2DD、2HDともに操作方法は同じです。

1

未使用のフロッピーディスクを図のように挿入口に入れます。

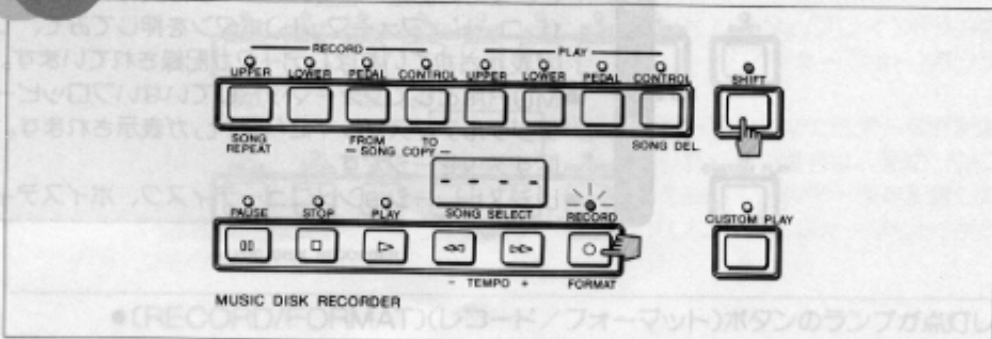


- ディスクが挿入されるとガチャツという音がします。



2

(SHIFT)(シフト)ボタンを押しながら、(RECORD/FORMAT)(レコード/フォーマット)ボタンを押します。



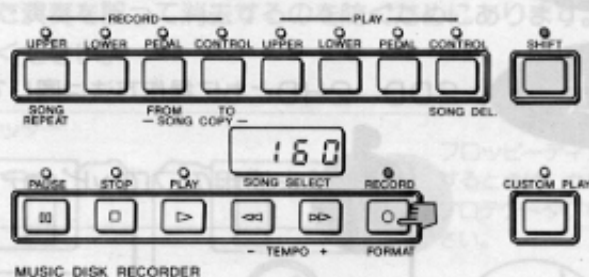
- デジタルディスプレイに(---)が表示され、フォーマットできる状態になったことを示します。
- (RECORD/FORMAT)(レコード/フォーマット)ボタンの緑ランプが点滅します。

フォーマットが完了すると、デジタルディスプレイに「00」が表示されます。また、記録されているデータを消して、別のデータを記録したい場合は、もう一度(RECORD/FORMAT)(レコード/フォーマット)ボタンを押して、操作を続けてください。

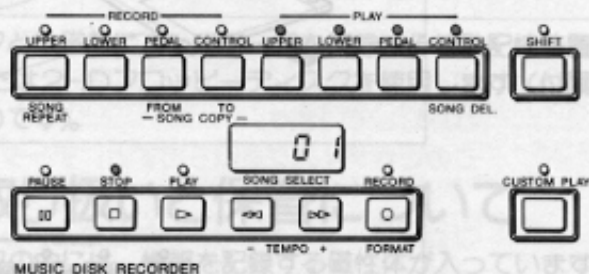
ディスクをフォーマット(初期化)する

3

(RECORD/FORMAT)(レコード/フォーマット)ボタンを押します。



- (RECORD/FORMAT)(レコード/フォーマット)ボタンの緑ランプが点滅から点灯に変わり、フォーマットが開始されます。



- フォーマットが終了すると、デジタルディスプレイに、ソングナンバー(01)が表示されます。
- (RECORD/FORMAT)(レコード/フォーマット)ボタンのランプが消えます。

これで、フロッピーディスクがMDRで使える状態になりました。

注意

- フロッピーディスクが未使用のものかどうか分からない場合は、フォーマットする前に確認してください。録音済みのフロッピーディスクを誤ってフォーマットすると、すでに記録されていたデータが失われてしまいます。(RECORD/FORMAT)(レコード/フォーマット)ボタンを押してみて、ソングナンバーの左に(- - 01)が表示されていれば、データが記録されています。
- MDR用としてフォーマットしていないフロッピーディスクを入れて操作をすると、デジタルディスプレイに「Fort」が表示されます。これはフォーマットするように促すメッセージです。
- レジストレーションメニューディスク、ボイスディスクはフォーマットできません。

MDRドライブユニットには、データを読み取るための磁気ヘッドがあります。この磁気ヘッドが汚れると、データの読み取りができなくなったり、ディスクが傷付いたりします。

MDRのドライブユニットには、データを読み取るための磁気ヘッドがあります。この磁気ヘッドが汚れると、データの読み取りができなくなったり、ディスクが傷付いたりします。

MDRのドライブユニットには、データを読み取るための磁気ヘッドがあります。この磁気ヘッドが汚れると、データの読み取りができなくなったり、ディスクが傷付いたりします。

MDRのドライブユニットには、データを読み取るための磁気ヘッドがあります。この磁気ヘッドが汚れると、データの読み取りができなくなったり、ディスクが傷付いたりします。

MDRのドライブユニットには、データを読み取るための磁気ヘッドがあります。この磁気ヘッドが汚れると、データの読み取りができなくなったり、ディスクが傷付いたりします。

MDRのドライブユニットには、データを読み取るための磁気ヘッドがあります。この磁気ヘッドが汚れると、データの読み取りができなくなったり、ディスクが傷付いたりします。

レジストレーションデータの記録

機能説明

レジストレーションメモリーボタンに記録したレジストレーションデータを、一括してフロッピーディスクに記録します。

操作方法

MDRボタンと(M./TO DISK)(メモリートゥーディスク)ボタンの両方を使う方法とMDRボタンだけを使う方法があります。

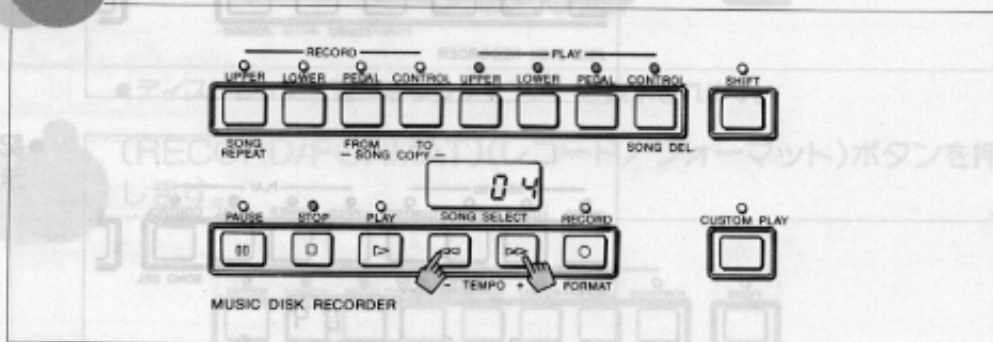
MDRボタンと(M./TO DISK)(メモリートゥーディスク)ボタンの両方を使う方法——

1

レジストレーションデータをレジストレーションメモリーボタンに記憶させておきます。

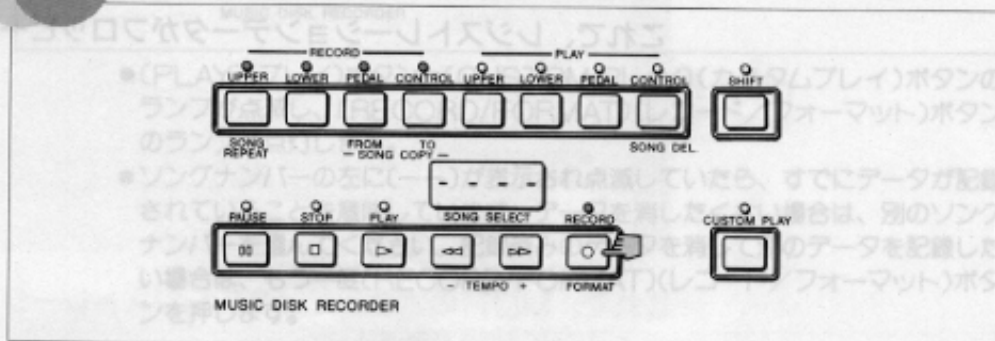
2

(SONG SELECT)(ソングセレクト)の(◀◀)(▶▶)ボタンを押して、レジストレーションデータを記録したいソングナンバーを選びます。

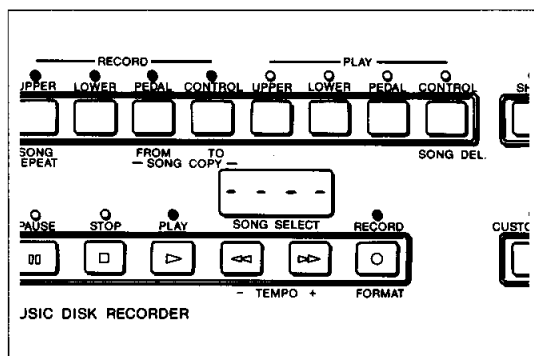
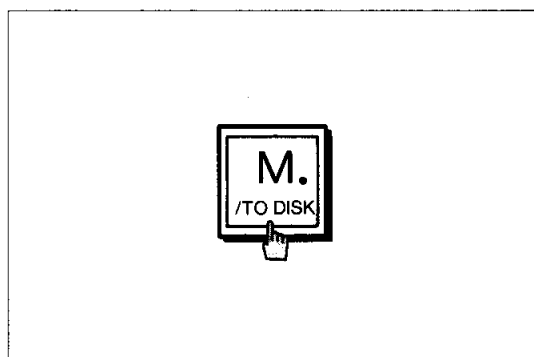


3

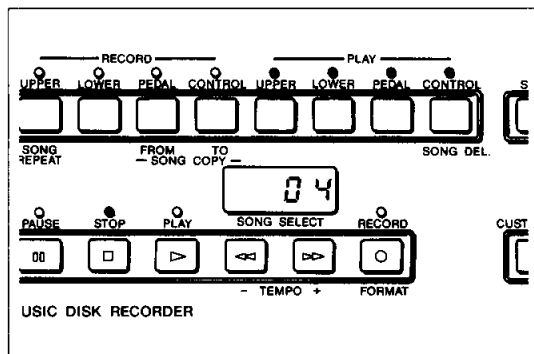
MDRの(RECORD/FORMAT)(レコード/フォーマット)ボタンを押しながら、(M./TO DISK)(メモリートゥーディスク)ボタンを押します。



- (RECORD/FORMAT)(レコード/フォーマット)ボタンのランプが点灯します。
- (RECORD/FORMAT)(レコード/フォーマット)ボタンを押したときソングナンバーの左に(---)が表示され点滅していたら、すでにデータが記録されていることを意味しています。データを消したくない場合は、別のソングナンバーを選んでください。また、記録されているデータを消して、別のデータを記録したい場合は、もう一度(RECORD/FORMAT)(レコード/フォーマット)ボタンを押して、操作を続けてください。



- ディスプレイでは(-----)が左から右に走行します。



- 記録が終わると、ディスプレイの表示がソングナンバーに戻ります。

これで、レジストレーションデータがフロッピーディスクに記録できました。

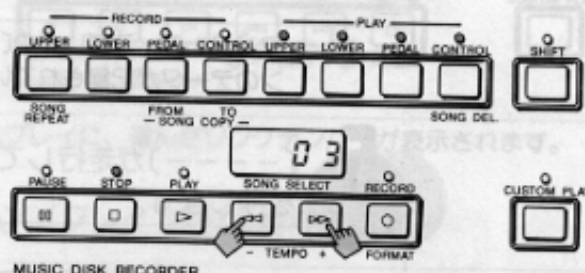
MDRのボタンだけを使う方法



レジストレーションデータをレジストレーションメモリーボタンに記憶させておきます。



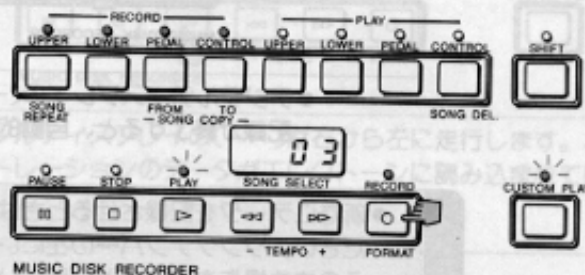
(SONG SELECT)(ソングセレクト)の(◀◀)(▶▶)ボタンを押して、レジストレーションデータを記録したいソングナンバーを選びます。



●ディスプレイに、選んだソングナンバーが表示されます。



(RECORD/FORMAT)(レコード/フォーマット)ボタンを押します。



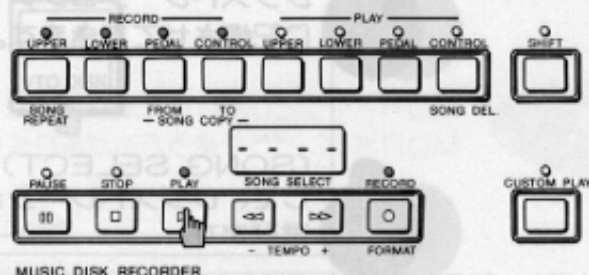
- (PLAY)(プレイ)ボタンと(CUSTOM PLAY)(カスタムプレイ)ボタンのランプが点滅し、(RECORD/FORMAT)(レコード/フォーマット)ボタンのランプが点灯します。
- ソングナンバーの左に(—)が表示され点滅していたら、すでにデータが記録されていることを意味しています。データを消したくない場合は、別のソングナンバーを選んでください。記録済みのデータを消して別のデータを記録したい場合は、もう一度(RECORD/FORMAT)(レコード/フォーマット)ボタンを押します。

これで、フロッピーディスクに記録していたレジストレーションデータがエレクトーンに読み込まれました。

レジストレーションデータを消したくなくても、リセットが有効になっていると、リセットで消えたデータは戻りません。

4

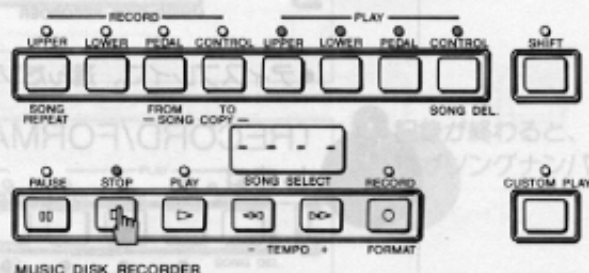
(PLAY)(プレイ)ボタンを押します。



- デジタルディスプレイの(-----)が走行します。これは、レジストレーションのデータが記録されている途中であることを示しています。

5

(-----)が走行しているうちに、(STOP)(ストップ)ボタンを押します。



- デジタルディスプレイの(-----)が点滅を始めます。記録が終了すると、自動的にストップします。

注意

- 新たにデータを記録させるときは、必ずデジタルディスプレイの表示を確認してください。ソングナンバーの左に(-----)が表示され、点滅しているにもかかわらず、そのまま操作を続けると、新しいデータは記録されますが、以前に記録したデータは消えてしまいますので注意してください。この方法はレジストレーションのデータだけでなく、必要のない空の演奏データが入る場合があります。
- 大切な情報を記憶させたフロッピーディスクは、万一のトラブルに備えて、他のフロッピーディスクにも情報を記憶させて、予備のフロッピーディスクを作るようにしましょう。

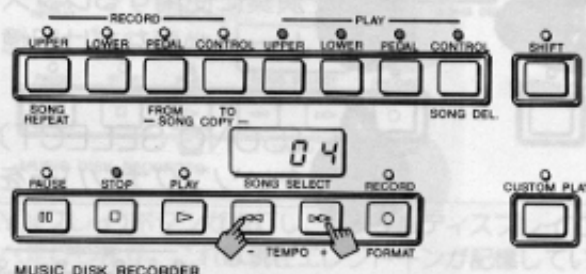
これで、MDRのボタンだけで、レジストレーションメモリーをフロッピーディスクに記録できました。

■フロッピーディスクに記録したレジストレーションのデータを再現させるときは

操作方法

1

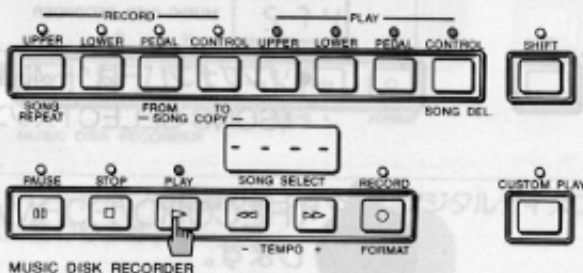
(SONG SELECT)(ソングセレクト)の(◀◀)(▶▶)ボタンを使って、レジストレーションデータを記録したソングナンバーを選びます。



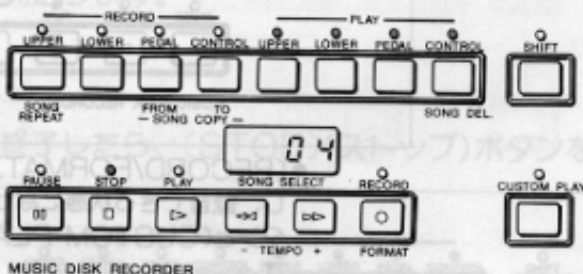
- ディスプレイに、選んだソングナンバーが表示されます。

2

(PLAY)(プレイ)ボタンを押します。



- デジタルディスプレイの(---)が右から左に走行します。これは、記録したレジストレーションのデータがエレクトーンに読み込まれていることを示しています。



- 再生が終了すると、ストップ状態に戻ります。

これで、フロッピーディスクに記録していたレジストレーションデータがエレクトーンに読み込まれました。

注意

レジストレーションデータを読み込むときに、リズムが発音していると、リズムプログラムで作ったデータは読み込まれません。

フォーマットボタンと(PLAY)(プレイ)ボタンの赤ランプが消え、ストップ状態に戻ります。

これで、演奏が録音できました。